

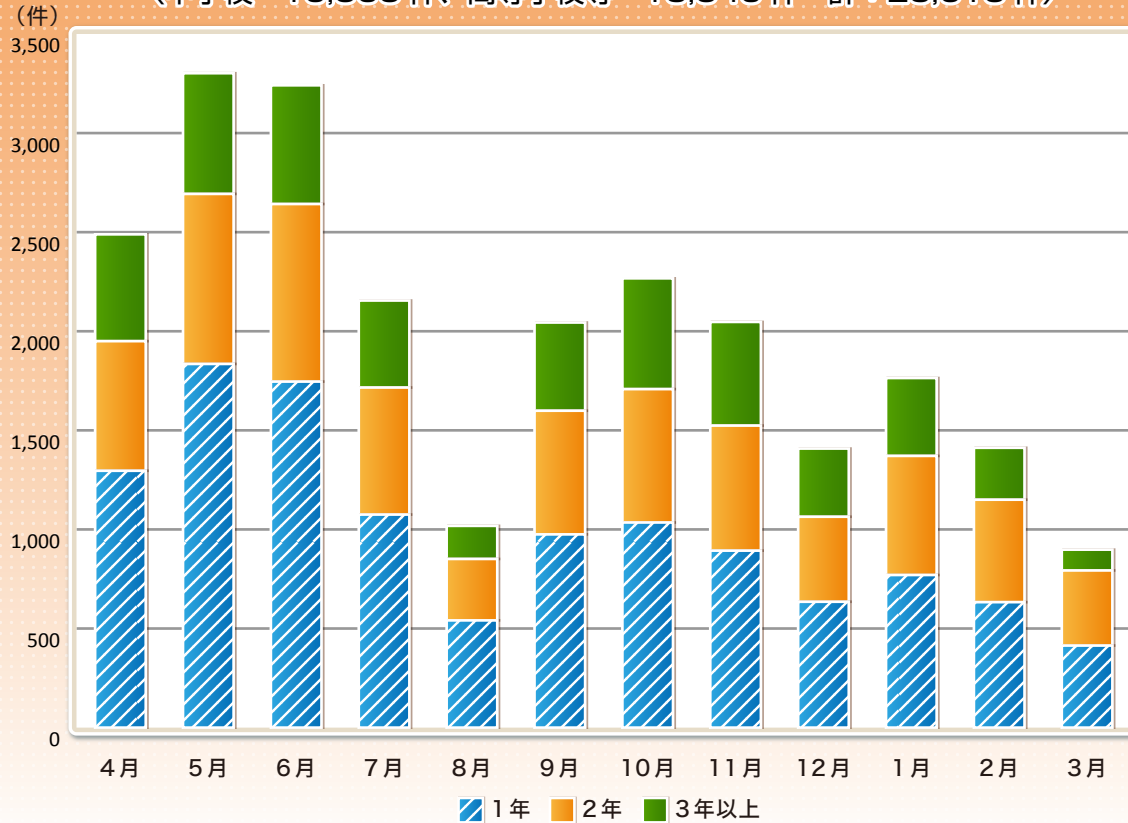
通学中の事故の傾向

令和2年3月号

中学校・高等学校等
教職員・保護者向け

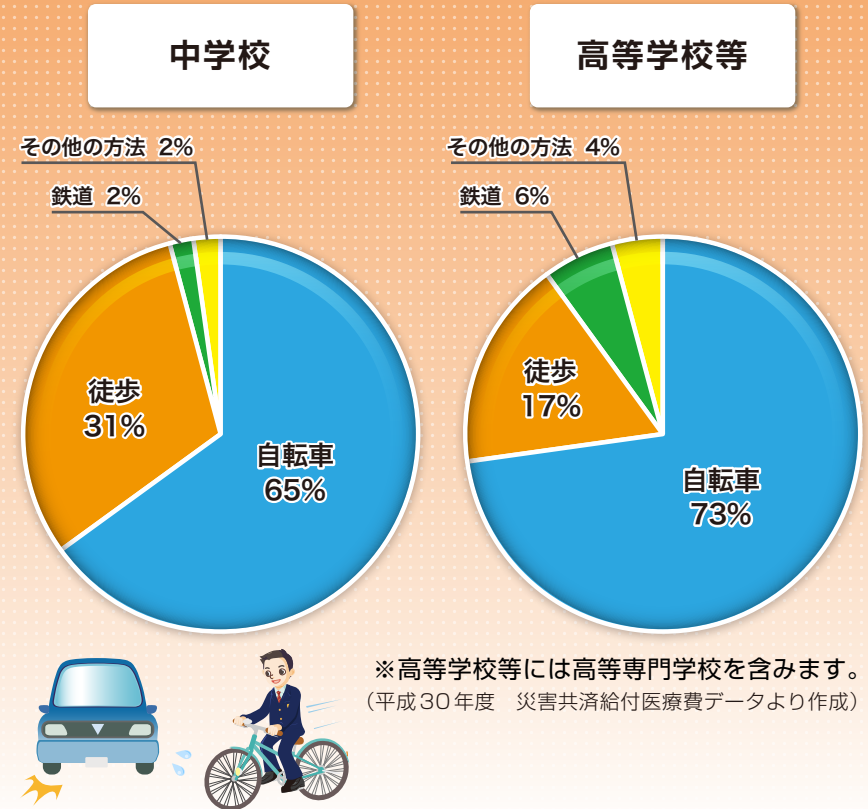
中学校・高等学校等 月別災害発生件数（医療費）

〈中学校 10,505 件、高等学校等 13,540 件 計：23,615 件〉



- 学校生活に慣れてきた頃の**5月や6月**に多い。
- 新しい環境に慣れていない**1年次**に多い。

通学方法別災害発生割合（医療費）



※高等学校等には高等専門学校を含みます。
(平成30年度 災害共済給付医療費データより作成)

- **自転車**での事故が最も多いが、**徒歩**での事故も発生している。

どのようにしたら事故を防げるか、裏面の事例と対策をご参照ください！



このような事故が起きています！

令和2年3月号

中学校・高等学校等
教職員・保護者向け

校門前の人混みで...

下校中、校門前の道路を集団で歩いていたとき、自転車に乗っていた友人が後ろから追い抜こうとしたところ、自転車の前輪が当たり、右下腿部を負傷した。
(5月・中3)

下り坂や段差で...

下校中、長い下り坂を自転車で走っていたところ、段差でハンドルから手が離れてしまい、左側へ倒れた。そのときに、左側の頭部・顔面、両手、左膝を打った。
(5月・高2)

路面の凍結で...

登校中、道路の路面の凍結により自転車ごと転倒した。ヘルメットをしていたので頭は大丈夫だったが、下敷きになった右手に痛みがあった。
(1月・中1)

(平成30年度 災害共済給付医療費データより)



ヘルメットの着用で頭部のけがを防ぐことができた事例もありますね！
ほかにどのような事故防止対策があるのでしょうか？



通学中の事故防止対策

安全管理

- 安全な通学路を設定し、交通環境の変化に注意する。
- 学校と保護者や警察等の関係機関、地域の関係団体等との連携を図り、地域の人たちの情報や協力が得られる体制を構築しておく。
- 災害事例や事故の統計、気象予報情報などを活用し対処する。

安全教育

- ヘルメットの着用など有効な対策を徹底する。
- 生徒会などで自主的な交通安全活動を展開させる。
- 登下校は通学路を利用することを徹底し、通学路の要注意箇所の把握・周知を行う。
- 「通学路安全マップ」、事故の事例、「ひやり・はっと」した場面などを題材に危険予測・回避の学習を行う。

(「通学中の事故の現状と事故防止の留意点」調査研究報告書より一部改変)